

熊本県看護連盟

# ひごつばき

HIGO TSUBAKI

vol. 32

H30.10.2発行

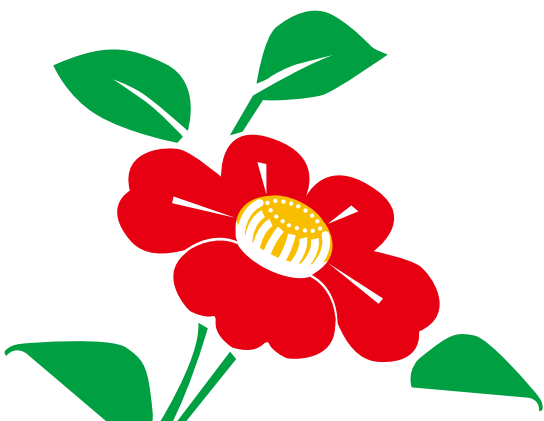


熊本県看護連盟通常総会後の決起大会

## CONTENTS

会長あいさつ(重松節美・嶋田晶子)	2P
石田まさひろ氏自民党公認候補予定者に決定	3P
熊本県看護連盟通常総会・総会に参加して	4P
特別講演・国政報告	5P
新役員紹介・あべ俊子議員来熊	6~7P
日本看護連盟通常総会報告・国会議事堂見学	8P
議員活動報告・看護連盟の対外的活動	9P
看護管理者・教育者セミナー・予算要望の回答	10P
石田まさひろ氏来熊	11P
看護教育者交流会	12P
会員のひろば	13P
入会会員数・お知らせ・編集後記	14P

熊本県看護連盟会員数：7,320名(平成30年9月26日現在)



## 会長あいさつ



熊本県看護連盟  
会長  
重松 節美

この夏は7月初旬に西日本豪雨災害があり、その直後から気温35～41度の猛暑酷暑が続きました。7月末には日本列島を台風12号が逆走・迷走する等もあり、異常気象新時代と云われるようになりました。会員の皆様方におかれましては、「命の危険がある暑さ」と注意喚起がある中でありますが、お変わりなくご清祥にお過ごしのことと存じます。

さて、平成30年度の県看護連盟通常総会は、6月30日にホテル熊本テルサホールにて会員の皆様方のご支援・ご協力により盛会に開催することが出来ました。出席者総数517名の会員の下、開会式は勿論、報告事項、審議事項、特別講演と滞りなく終了することが出来ました。

ところで県看護連盟は、これまで地道にコツコツを合い言葉に、13支部と共に種々の連盟活動(研修会や集会、施設訪問等々)に努めて参りました。これらの活動を通して看護職の皆様、看護連盟や看護職国会議員の必要性・重要性を十分にご理解・ご認識頂くことこそが、看護の未来を大きく拓くものと確信しています。

平成30年に入り8月迄に、たかがい恵美子議員、石田まさひろ議員、あべ俊子議員、木村やよい議員による総計8回に亘る来熊がありました。講演会、雑談の会、施設訪問等の機会を通じて会員の皆様方との直接の交流を深めて頂きました。

ときに平成30年7月20日に、石田まさひろ氏が来年夏の第25回参議院議員選挙の自民党第1次比例代表公認候補予定者に決定致しました。会員の皆様と共に、これからの1年連盟活動にしっかり頑張って参ります。

## 熊本県看護協会会長あいさつ



熊本県看護協会  
会長  
嶋田 晶子

残暑厳しい日々が続いております。6月18日の大阪府北部地震、さらに西日本豪雨災害と相継ぐ災害で犠牲になられた皆様のご冥福をお祈りすると共に、被災された多くの皆様に心よりお見舞いを申し上げます。また、猛暑の中で被災地の人々に寄り添い支援にあたられている多くの方々に敬意を表すると共に皆様のご健康を心よりお祈りいたします。

さて、熊本県看護協会では6月23日に平成30年度通常総会を終えることができました。総会では永年協会の教育に尽力いただきました10名の講師の皆様へ感謝状贈呈を、22名の方に県協会長表彰をいたしました。総会終了後は県協会創立70周年を記念し、日本看護協会福井会長に「生きるを、ともに、創る」地域共生社会における看護のチカラ」と題し特別講演をしていただきました。また、役員改選では6名の理事と1名の監事の交代があり、平成30年度の重点事業の推進に向け新体制で取り組んでいるところです。

今年で3回目となる「看護がつなぐ地域包括ケアフォーラム」は、2019年2月2日(土)に八代で開催いたします。多くの皆様のご参加をお願いいたします。新しい事業として、日本看護協会のモデル事業を受けて「看護職のキャリアと働き方支援による地域に必要な看護職確保モデル事業」を8月から阿蘇地域で取り組み始めています。また、以前より要望があった協会のホームページも現在リニューアル中ですので今しばらくお待ちください。

最後になりましたが、私も会長として2期目に入ります。新役員と共に支部との連携を図りながら、地域の声を大切に事業の推進に向け取り組んでまいります。皆様方のご支援よろしくお願いいたします。

# 石田まさひろ氏が 第25回参議院議員 通常選挙(比例代表)の 自民党第一次公認候補 予定者に決定!



来年夏は、第25回参議院議員選挙が行われます。

日本看護連盟では、すでに石田氏を組織内候補予定者と決定しておりますが、この度、自由民主党が比例代表の第一次公認候補予定者に決定しました。

看護職代表として活躍し、数々の実績を残しておられる石田まさひろ氏を是非、再度、国政の場にお送りしたいと思います。



## 石田まさひろの国会議員としてのポリシー

- ◎徹底した「現場主義」 ～現場の声を聞かせて下さい。  
国民一人ひとりの声を聞くために、全国の病院・施設を2,000か所以上訪問。
- ◎徹底した「情報発信」 ～すべてお伝えします。  
国政の場で起こっていること、各地の素晴らしい取り組み事例を発信。
- ◎徹底した「未来志向」 ～明るい未来に向かって  
以前から次世代リーダーの養成に力を入れてきました。国会議員になってからは、「わかしの会」を立ち上げ、若者をメンバーとして勉強会を開催。



## 平成30年度 熊本県看護連盟通常総会



平成30年度の熊本県看護連盟通常総会並びに特別講演会が、6月30日(土)に、ホテル熊本テルサにおいて開催された。

### ○通常総会

総会は13時に開会し、司会の矢野副会長が、12時45分現在の出席会員数、総数5,617名(委任状を含む)を報告して総会の成立を宣言した。物故会員への黙祷の後、重松会長が次のように挨拶された。

『平成29年度は、「組織力の強化・拡大」「政治力の強化」「会員の福祉の充実」を目標に活動した。地道にコツコツをモットーとして、県看護協会との連携・協働を図ると共に、研修会・交流会を開催し、支部ではミニ研修や集会を重ね、会員への連盟活動の理解・周知を図ってきた。昨年の衆議院議員選挙では、あべ俊子議員、木村やよい議員が当選されたことは大きな喜びであった。参議院のたかかひ議員、石田議員、衆議院のあべ議員は、計画外にも熊本を訪問され、「雑談の会」や「交流会」「施設訪問」等を行った。また、熊本県議会議員と会員の交流会もこれまで4回開催でき、今年度も計画中である。熊本地震後に全国から頂いた980万円余の義援金は、2回にわたり295名の被災された会員に配分し、3月末でゼロのなったこと



を報告する。

平成30年度は候補者に決定した「石田まさひろを応援する会」の活動に全力で務める。看護協会の目的を達成するための政治団体である看護連盟は、看護職の代表や看護職を応援頂く方を高得票・高順位で国政の場に送り出して行くことが最重要である。それが看護の未来を拓くものである。』

来賓の県知事代理(県健康福祉局長 原田牧人様)、藤川隆夫県議会議員 野田毅衆議院議員、嶋田晶子看護協会会長ら9名の方々のご挨拶があった。少子高齢社会を背景に、看護師の確保や安心して働ける環境づくりに努力し、現場の声に耳を傾けると約束され、祝電披露で開会式を閉会した。

総会は、2名の議長を選出して、議事に入った。報告事項はすべて承認され、審議事項の第1号議案から第5号議案まで承認された。新旧役員の紹介に続き、綱領宣言と連盟歌を斉唱し15時に閉会した。最終出席会員数は503名、役員12名、議長2名、委任状5,836名、総数6,353名であった。

総会后、県議会議員前川収氏による特別講演と、衆議院議員木村やよい氏による国政報告が行われた。なお、平成30年度のスローガン(案)「ベッドサイドから政治を変える!」～一人ひとりが成熟・自律した活動をする～が承認された。

### 平成30年度熊本県看護連盟通常総会に参加して

熊本赤十字病院 外来 原田 美里

通常総会では、平成29年度活動報告のあと、平成30年度の活動計画等が審議された。特別講演で「熊本地震からの創造的復興」というテーマで、前川収先生が、復興支援の活動についての話をされた。まだ、30,000人が仮設暮らしをされている。今後2年を目途に0にしたいと話された。

国政報告では「現状と未来を見据えて」というテーマで木村やよい先生の講演を聞いた。子育てを終えて38歳で看護師になられた。政治力が必要だと平成26年に衆議院議員になられた。待機児童問題等対策特命チームの座長をされている。少子、超高齢社会がさらにすすむことが懸念され、これまでの社会保障システムとは違う視点で考えていく必要がある。また、専門職として「看取り」を訪問看護師ができるシステムな

ど、これからの医療、介護の在り方を考える必要があると話された。

そのためには、私たちの代表を政界に送ることが必要だと改めて感じた講演であった。

その後、決起大会が行われた。石田まさひろ議員は、国会業務で参加できなかったが、お面をかぶった石田まさひろ氏と木村弥生議員の出席で、青年部の音頭で「がんばろう」コールをおこなって、石田まさひろ氏を国政に送り出そうという気持ちをひとつにしました。



## ○特別講演

## テーマ 「熊本地震からの創造的復興」

講師 熊本県議会議員 自由民主党熊本県支部連合会会長

## 前川 収 氏

10年間、自民党熊本県連の幹事長を務め、役割は潮谷知事の次の知事選を行うことから始まった。まず、蒲島先生に知事選への出馬をお願いした。東京大学の教授で立派な経歴の前に緊張していたが、蒲島先生は威張っていなかった。同じ鹿本高校出身であったことが幸いした。蒲島知事が誕生した年にリーマンショックが起きた。そこで、一日も早い景気回復のために国の補正予算を獲得しようと、熊本の国会議員と自民党県議団がタッグを組み「チーム熊本」が誕生した。その結果、補正予算からダントツ日本一の801億円を熊本県は獲得できた。連携プレーのできることを希望となり「チーム熊本」となった。

そんな中で熊本地震が発生した。被災者以外の国会議員、県議会議員は全員集まり72時間は県庁に直接電話しないことを決めた。1本の電話で全ての仕事が止まることを全員が分かっていたからである。幹事長の前川氏だけが窓口となった。被災状況は、全壊8,600件、半壊3,400件と多く、約2,000名が崩れた家の中から救われた。それは、地域でのコミュニティが良かったことに加え、県



と行政が人命優先で72時間動いたからである。避難場所として車での移動や車中泊は想定外であった。怖くて不安で家に居ることができなかったのである。事前に必要な物資を届けるプッシュ型の支援と600名を超える看護師をはじめ、延べ1,000人の支援があり、政府の対策本部が県庁に集合し、その場で即決できる人を誘導者をお願いした。そんな中益城町の水が止まりトイレは使えなくなった。直ちに基礎集落に仮設トイレを2つずつ要望した。責任者を置くことが条件だったが区長は30分で決め、翌日に設置された。相談窓口の電話を72時間も我慢できる都道府県は、そうはない(他にない)。日頃からの地域連携が必要である。

## ○国政報告

## テーマ 「現状と未来を見据えて」看護と議員活動

講師 衆議院議員 木村 やよい 氏

子育てに一段落した後で看護の道に進み、プリセプターは10歳年下だった。患者・家族の手紙は私の宝物であり、仕事をする中で「制度を変えることで、みんながハッピーになれる」。それが政治であると感じ始めた。日本看護協会の広報部等で仕事を行っていたところ、衆議院への立候補を勧められ、2014年12月に衆議院議員初当選し、比例代表四人目の看護職となった。「保育園落ちた、日本死ね」が話題となっていた頃だった。2年前に待機児童問題等緊急対策チーム座長に就任した。2016年5月には京都3区へ移ることを勧められ、2017年10月に2期目当選を果たした。

看護のニーズが高まる中、少子高齢化、疾病構造の変化等がある。高齢化率を2005年と2035年で比較すると著しい変化がある。これからの社会保障や介護のあり方においては、医療と生活の視点が重要となる。AIの開発が進み、医師の業務は少なくなるであろうが、私たち看護師は最後まで看取りやブリーフケアができるという強みがあ

る。穏やかな死を迎えることへの支援ができる。

これからの医療や介護を考える場合には、医療職以外とのエンパワメントも必要である。今、進めていることは、①こども・子育て支援②働き方は、昭和時代でなく多様性(ダイバーシティ)を③次世代への責任と継承である。

何よりも「元気で自立した高齢女性」を増やす。BB(貧乏婆さん)でなく、HB(ハッピー婆さん)を増やすこと。定年後のプラチナナースは、職場が多忙な早朝で見守りや起床時の世話ができる。社会保障の良い基盤となるので頑張してほしい。



## 新 役 員 紹 介



県連盟幹事  
村上 元子

この度、熊本県看護連盟幹事を務めさせていただくことになりました。

熊本1支部長として2年間しか経験はございませんが、県役員の方々や支部会員、さらには各支部長に支えられながら務めることができました。今後も微力ながら貢献できるように努力していきたいと思っております。

看護協会は政策提言活動であり看護連盟はそれを支援する政治活動のための組織です。未来の看護や看護職のために活動する組織として発展してきております。熊本県看護連盟は全国から注目される組織運営をされています。熊本県の看護職の団結力にほかなりません。今年度のスローガンにもあります「一人ひとりが成熟・自律した活動をする」を胸に地道に努力していきたいと考えています。

最後になりますが、来年は参議院選挙の年です。看護職の力を存分に集結していきましょう。皆様方のご協力をご指導をよろしくお願ひします。



熊本2支部  
支部長  
吉澤 裕美子

熊本2支部の支部長を引き継ぎ、早、一カ月が経ちました。前支部長の松崎さんが、書類を分かり易く整理しておいて下さり、とても助かっていますが、幹事長に相談しながら整理している段階です。

私は、看護部長になって2年目ですが、電子カルテ導入、ISO、病棟編成などに翻弄されつつ、月日が経ち、まだまだやりたいこと、やるべきことができていると感じています。こんな状態での連盟活動との両立はとても不安が強く、プレッシャーでもありました。

けれども、気持ちを切り替え、たった一度の人生なのだから、色々な方との出会いや経験を力に変えていけたらと思っています。

また、日頃、看護師たちが悶々としていることを吐き出してもらい、意見として吸い上げていきます。それによって応援議員にも、より良い活動をしていただけることを期待します。また、連盟活動も院内で周知していけるよう無関心を取り除く努力をしていきたいと思っています。



熊本4支部  
支部長  
村本 多江子

この度、熊本県看護連盟通常総会にて熊本4支部の支部長を拝命頂きました村本です。私たちの支部は、前任の石本支部長が永きにわたり活動を牽引して頂きました。今回、その後の支部長の役割を未熟な私が引き継ぎますので、正直なところ不安を感じております。

そのような中、6月に開催されました日本看護連盟通常総会へ代議員として参加させていただきました。その際、石田議員、たかがい議員を初め、熊本県出身の国会議員の方々と親しく対面し情熱的な活動報告を拝聴する機会を得ました。患者さんやご家族、私たちが抱える課題を解決するためには、政策提言のできる看護職の代表を高得票で国会に送ることが大切であると再認識致しました。

今後、成果を伴う円滑な看護連盟活動となりますように、各施設の幹事の皆様を初め、連絡員の方々と連携し、これまでと同様に会員の皆様のご支援とご協力を賜りながら職務に取り組む所存です。どうぞ宜しくお願ひ致します。

## 新役員紹介



県南2支部  
支部長  
瀬高 香澄

この度、県南2支部の支部長を務めさせていただくことになりました。

平成30年度の日本看護連盟通常総会に初めて出席させて頂き、専門職としてもっと主体的に自立・自律して活動していくこと、看護に関わる政策を実現していくためには、政策決定の場に看護職の代表を送り出していくことが必要であることを確信しました。

医療需要も多様化し、看護を取り巻く状況が大きく変わろうとしている現在、医療から介護までの包括的なサービスを提供する仕組みがより一層求められています。変化のさきを見据えながら「ベッドサイドから政治を変える」をスローガンに、一人でも会員を増やし組織の一員として活動していきたいと思っておりますので、ご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



県南4支部  
支部長  
藤村 友子

平成30年度より県南4支部の支部長を務めさせていただきます。

県南4支部は人吉・球磨地域の会員数約240名の支部です。

平成27年度より3年間、(前)三倉美千子支部長の下で支部幹事長として連盟活動に携わってまいりました。先日開催された看護管理者・教育者セミナーに参加し講師の(前)看護連盟副会長の(前)大島敏子先生の熱い講演を拝聴しました。連盟会員ではあるが連盟の活動については良くわからないという会員が多いのも現状です。支部役員、施設連絡員、病棟リーダーと協力しながら、又「ひごつばき」や「アンフィニ」などの機関誌も活用しながら少しでも多くの会員が連盟活動を理解できる様に努力していきたいと思っております。

平成30年6月28日(木)

## あべ俊子衆議院議員が来熊され施設を訪問！

### ◎人吉地区訪問(9:00～12:00)

球磨病院・人吉中央温泉病院・光生病院・  
公立多良木病院・熊本県人吉保健所



### ◎八代地区訪問(14:00～16:40)

熊本労災病院・熊本労災看護専門学校  
八代敬仁病院・桜十字八代病院・  
八代看護学校・熊本総合病院

各施設を離れる際に  
「石田まさひろをよろしく！」の  
声が印象深かった！！



熊本労災病院にて

## 日本看護連盟通常総会報告

熊本循環器科病院 田中 弥生

平成30年度日本看護連盟通常総会が、6月5日に、ザ・プリンスパークタワー東京で開かれ、全国から約1,700人が出席。本年度の事業計画等が承認されました。続いて次期参議院議員選挙に向けての決起大会が行われました。

組織内候補予定者である、石田まさひろ議員は公務のため出席できませんでしたが、応援歌の合唱や青年部のエールなど会場一体となる盛大な会で団結した力強い団体であることを感じました。

翌日は国会見学をさせていただき、国会議員の先生方の話を聞きましたが、熱意が伝わり大きな活力となりました。

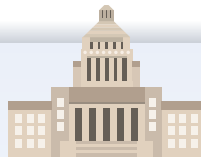
現在、参議院では「働き方改革関連法案」の審議中であり、看護職の労働環境改善に向けても熱い議論が交わされています。石田議員は、看護職は24時間体制で働いているため人材確保の必要性について、また、記録を減らすことでもっと患者さんのベッドサイドへ行き、ケアの充実が図れることについて働きかけています。これらは現場の声であり、現場のことを理解している看護職の代表だからこそ提言できるものです。

そのために、看護職代表国会議員には高い得票数を持って発言しやすい場を提供することが私たちの役目であり、一人一人が組織として自立すること。選挙の結果が連盟の組織を示す指標になることを学びました。

これからは次世代に向け、人生百年時代を先取りした看護職の未来のために尽くしたいと思います。



## 国会議事堂を見学して...



熊本県看護連盟青年部 田中 裕貴

平成30年6月5日は日本看護連盟通常総会、6月6日に代議員研修として国会議事堂の見学に参加しました。参議院議員会館では、たかがい先生と石田先生のお部屋を拝見しました。たかがい先生のお部屋には、全国からの応援の色紙やポスターが掲載しており、女性らしい華やかな印象でした。石田先生のお部屋には、趣味でもある金魚が泳いでおり、各々先生自身の色が出ているお部屋となっていました。また、国会議事堂本会議場の見学において、参議院は本会議中であり、初めて本会議を傍聴することができました。国の方針や制度がここで決まっていると考えると感慨深いものがありました。昼食時には、働き方改革関連法の制定にご尽力された石田先生をはじめ、熊本選挙区選出の国会議員の先生方が多数ご挨拶に見えられました。今回、このような貴重な経験を積むことができたことに感謝し、その経験を今後の連盟活動に活かしていきたいと強く思いました。



雨の為、国会議事堂内にて記念撮影



# 議員活動報告より



## あべ俊子 衆議院議員

平成30年6月に、あべ俊子政策研究会国政報告会を東京で行った。支援者に感謝すると同時に激励に応えるべく、しっかりと国政に取り組んでいく決意を新たに。毎年6月～7月頃は、次年度に向けて政策の報告性が示される時期である。与党内で勉強会や部会を通して検討した内容を提言や要望書にまとめ、所管する大臣に申し入れを行っている。地道な活動であるが、今後も看護職から頂いた貴重な声を国政の場に届けてゆく。



## たかがい恵美子 参議院議員

被災後3週間目を前に最前線で復旧支援にあたる医療職やボランティアの皆さまのもとへ激励訪問し、課題と要望を伺った。一刻も早い改良復旧と生活再建を目指して、心ひとつに力を合わせることを誓った。量子科学技術研修開発機構ならびに光化学イノベーションセンター・宮城県・仙台市・東北大学・東北経済連合会による次世代放射光施設が認可された。東日本大震災を克服して成長する東北にまたひとつ大きな希望が生まれた。



## 石田まさひろ 参議院議員

今国会の最重要課題、「働き方改革」関連法案の審議が参議院で始まり、戦後の労働基準法制定以来70年ぶりの大改革に向けて動き出した。6月4日の本会議では法案の趣旨説明がなされ、自由民主党・こころを代表して安倍総理及び加藤厚労大臣に対して質疑応答をする名誉な機会を頂いた。代表質問では、①働き方改革の意義、②労働界・経済界と合意に至るまでのプロセス、③中小企業での働き方改革、④夜間勤務時の働き方改革、⑤高度プロフェッショナル制度の5つの内容について質問した。



## 木村やよい 衆議院議員

子どものいのちを守るために、児童の養護と未来を考える議員連盟で司会を務め児童相談所の技術的な改革などを求める決議文を加藤勝信厚生労働大臣に手渡した。さらに「児童虐待から子どもを守る議員の会」が発足し私も参加している。全ての子供が大人と社会を信頼し、成長出来る社会の実現に向けて取り組む事を約束した。「誰もがより健康で働ける社会」にむけて自立支援、生活支援、相談支援など、様々な形で支援事業を展開していく。

## 看護連盟の対外的活動（期日：平成30年5月～平成30年8月上旬まで）

期日	名称	会場	出席者	内容
5月 8日(火)	看護の日記念式典及び講演会	鶴屋百貨店鶴屋ホール	重松 工藤	優良看護職員の熊本県知事表彰 特別講演「映画の力を信じて」 講師：映画監督 行定 勲氏
5月19日(土)	一般社団法人 熊本県助産師会通常総会	熊本県助産師会館	重松	通常総会 来賓として出席
6月 9日(土)	金子やすし衆議院議員との意見交換会	せいりゅうの里	前田	水俣・芦北地域の医療福祉に関する意見交換会 金子議員の活動報告
6月12日(火)	公益社団法人 日本看護協会 平成30年度通常総会	パシフィコ横浜(神奈川)国立大ホール	重松 工藤 齊所 村上	開会(挨拶 来賓祝辞 日本看護協会会長表彰) 議決報告 報告事項
6月13日(水)	公益社団法人 日本看護協会 総会 全国職能別交流集会	パシフィコ横浜(神奈川)	重松 工藤 齊所 村上	全国看護師交流会Ⅱ 介護・福祉関係施設・在宅等領域 活動報告 関連事業報告 特別講演Ⅰ 特別講演Ⅱ
6月17日(日)	キャンパスセミナー 教育と女性活躍	熊本県立大学地域連携・ 研究推進センター	重松 城 矢野 高島 白石 齊所	「熊本地震を踏まえての教育の方向性」熊本市長 大西一史氏 「熊本地震の教訓から」行政書士会 会長 井口由美子氏 「なぜ、今、教育再生なのか」元文部科学大臣 下村博文氏
6月21日(木)	坂田孝志氏「第87代熊本県議 会議長」就任を祝う会	熊本ホテルキャッスル	重松 工藤 上村	開会：発起人挨拶 来賓挨拶(衆議院議員 金子恭之氏、参議議員馬場成志氏 他) 就任あいさつ
6月23日(土)	平成30年度 熊本県看護協 会通常総会	ホテル熊本テルサ	重松	総会開会式来賓として挨拶
7月 2日(月)	自民党県連総合選対会議	ホテル熊本テルサ	重松 矢野 工藤	第一部 選対会議 第二部 各種団体との意見交換会
7月 7日(土)	熊本県看護協合同員会	熊本県看護研修センター	重松	看護連盟について紹介 地方議員の必要性 熊本県議会議員補欠選挙について 参加者：嶋田協会長他
7月 7日(土)	熊本県看護協会 平成30年度 熊本東支部集会	熊本赤十字病院	工藤	集会来賓として挨拶
7月15日(日)	祥援隊第6回ミニバレーポ ール大会 救護	合志市総合センター ヴィーブル	徳永(合志第一 病院)中山(熊本 セントラル病院)	松村祥史後援会 ミニバレーボール大会 救護として参加
7月22日(日)	熊本県議会議員補欠選挙開票	竹崎かずとら氏選挙事務所	重松 工藤 齊所 田中	開票結果 13,147票
7月22日(日)	熊本県議会議員補欠選挙開票	井手のぶお氏選挙事務所	矢野 岩城	開票結果 12,537票
7月26日(火)	藤川たかお後援会の集い・自 由民主党県連幹事長就任祝 賀会	マリエール神水苑	重松 工藤 村田	県政報告・熊本地震復興状況と課題・厚生常任委員会(人手不足と県内就業・技能実習の受け入れ・少子化対策)・国際スポーツ大会推進特別委員会(ワールドカップに向け準備)
7月29日(日)	NPQ22金峰・有明環境会議・ 下草刈	JA熊本市芳野支所前広場 熊本市河内野野出	田中 笹原 西米	民有林 27,000㎡の下草刈救護活動 鎌による切創1名 蜂刺傷3名 軽度の切傷4名
8月4日(水)	各種団体の県への予算要望 を回答する会等	ホテル熊本テルサ	重松 山本 工藤	・県への予算要望の回答について ・次期参議院選挙の対策について

# 看護管理者・教育者セミナー

## ◎受講して想うこと

菊南病院 福嶋 真樹

大島敏子先生の御講義で、看護連盟の意義や歴史、議員の輩出の必要性を述べて戴き、これまでの諸先輩が築き上げられた組織の重要さが分かりました。看護連盟の会員になっているが、内容まで理解している方は少ないかと思いました。裾野まで伝えないといけないと感じました。また、グループワークで5題に振り分けて各グループの積極的な意見が飛び交い、発表者の内容を聞くとはばらしく参考になることがたくさんありました。他の施設の方との意見交換もでき、職場での改善につながる部分があり参考になりました。充実したセミナーでした。有難うございました。



## ◎看護管理者・教育者のセミナーグループワークより

テーマ：「臨床周辺の看護問題を整理する」内容を5項目としてグループは参加者の自己選択とする。



- |                     |       |
|---------------------|-------|
| 1. 人手不足が改善されないのは何故？ | (12名) |
| 2. 医師不足は何故起こったのか？   | (11名) |
| 3. 給料アップを目指すには？     | (17名) |
| 4. 記録物が多いのは？        | (17名) |
| 5. 時間外を減らすためには？     | (25名) |



テーマに沿って討議し発表、講師である大島先生より、方向性に対する指示やアドバイスを頂く形で進行する。

### 内容の一部紹介

- ・看護師独自の加算を見つける。作り出す。数字を出して待遇改善や給与アップにつなぐ。
- ・医師の研修制度が制定されたため、地域の医師の減少
- ・メディカルネットワークを利用してサマリーを簡略化していく
- ・政策として教育システムを変える。
- ・記録の見直しが必要である。残業の大部分は記録である。

総括として講師より「看護職国会議員が他の医療職代表より多い獲得票で当選する事が大きな力となる。自律した看護師の活動と存在が、国民を動かし給与アップにつながる。」

## お知らせ

### 平成30年度県予算要望の回答

平成30年度の県予算について、自民党県連を通して県に要望書を提出していました(ひごつばきvol.30に掲載)。この度「各種団体への予算要望回答の会」が、8月4日(土)に、自民党県連主催で行われました。この会には、自民党の国会議員、県議員、熊本市議員と70の団体120名が出席され、看護連盟から会長他2名が出席しました。

看護関係の予算については、看護職員確保対策、質向上、在宅ケア推進、保健師人材確保等4つの項目について、概ね要望のとおり予算が確保されました。



参議院議員

9月15日(土)

石田まさひろ氏来熊



石田議員が熊本に来られ、次の行事が行われました。

### 第1部「石田まさひろ議員と助産師との交流会」 熊本テルサ 10:00～12:00

県看護連盟では、助産師対象の交流会を初めて行ないました。石田議員は初めに、2人のお子様は自宅出産で、ベテラン助産師の介助に感動したことを紹介。現在、マイ助産師制度が議論されていることや、乳腺炎重症化予防ケアが診療報酬改訂でH30年4月から点数化されたが、十分な成果が実証されたためだろうと話された。

交流会では、「熊本市市民病院は現在入院機能がないが、里帰りや転勤者等の育児相談が多い。不安等があった時1泊で帰っていくなどマイ病院制度があってもよいのでは。開業助産師が働きやすいよう仕事を評価してもらいたい。妊産婦死亡の1/3は産後うつであり、今後、産後ケアが必要。地域の産婦人科で、助産師が1人で過労の実態がある。精神疾患の妊婦さんの入院先の確保が大変。」等々、医療機関や教育機関の助産師、開業助産師の方々(出席者20名)から多数意見が出された。(副会長 山本)



### 第2部「石田まさひろ議員の国政報告会」 熊本テルサ 13:30～15:00

全国の施設訪問をしている石田議員は、介護要員不足や記録が多いとの声が多く聞かれた、と言われた。また、訪問先のある病院の取り組みを紹介。「従来、病棟の消灯時間は夜9時頃が一般的。当病院では、世の中の人々が就寝する時間まで消灯を延長し、入浴も夜に行い、リラックスする時間を設けた。この結果、患者の転倒や不眠が激減した」。病院の都合でなく、患者の生活リズムを重視したことを評価された。

なお、議員は参議院厚生労働委員会の筆頭理事を仰せつかり、会の運営や議員間の調整等で激務だったが、政策の全体を把握する立場になり、大変勉強になったことも話された。

石田議員が、国政の場で活躍しておられる様子が分り、更に躍進を期待したい。そのためには、看護職の代表である石田氏を私達が強力で支援していきましょう。(副会長 山本)

### 第3部 石田まさひろ議員の国政報告並びに現場の声を伝える交流会 玉名市民会館 18:30～20:15

思いのほか早く到着された石田議員は、少しの合間を縫って近くの温泉に行き汗を流し、本日最後の交流会に臨まれた。会長挨拶のあと、議員は、ひごつばき号外(18.03)を手元に置き、診療報酬改定にどう関わったかを説明された。その後の参加者(29名)との交流会では、「多剤薬剤処方薬の確認がナースに任されており誤薬防止が限界。療養病棟で医療区分が下がると医療費が下がるのは納得がいかない。実習現場では指導者が不足している。学童保育施設が足りない。」等多くの意見が出され、議員はその意見一つひとつに自分の考えや今後改正することなどを交えコメントされた。参加者からは、意見を聞いてもらって良かった。現場のことを理解してもらって嬉しかった。絶対当選させなければと思った等の感想が聞かれた。夜間にもかかわらず参加者も多く上のような意見が聞かれ、支部長として心強く思った。



（県北3支部長 税田）

## 「看護教育者交流会」

## たかがい恵美子参議院議員との雑談の会

副会長 山本 史恵

平成30年8月11日(土)午後、ホテル熊本テルサにおいて、たかがい恵美子議員との「雑談の会」を開催しました。出席者は、看護学校の教員、病院の実習指導者等50名及び県連盟役員9名でした。

まず、たかがい議員は国政報告として次のように話されました。『2年間の自民党女性局長を経験した後、現在、文教科学委員長を務めている。文科省は260校の看護大学を統括している。今国会では、健康増進法改正、医療法・医師法改正、働き方改革関連法制定など、私達に関係あることが議論されてきた。働き方改革では、看護の業界がどう変わっていくか。黙り込まないで必要なことは発言していくこと。なお、昨年からはじめた「雑談の会」は、こういう現状を打破したいからである。“何をどうしたい、ではどこからどうやっていこうか”を各地域から提案して欲しい。』

次に、出席者が自由に発言する交流の時間を約1時間設け、業務上の悩みや問題、意見を出し合い、たかがい議員が助言する形で進めました。

## \*実習指導者の主な発言

院内で委員会を立ち上げて学生に関わっているが、教員と実習指導者との差を感じる。

新人教育は必要だが仕事をしながらでは難しい。新人教育の助成金を民間病院にもつけて欲しい。

## \*教員の主な発言

看護教育のテキストは高度な内容だが、学生にレベルの差がある。家庭の経済状況で看護を学ぶことが難しくなる者もいる。大学設置基準を大学側は言うが、十分な教員数が不足している。2年課程(夜間)学生は殆ど勉強する時間がない。男子学生の母性実習の場の確保困難。

## \*たかがい議員発言

何をどうしたいかの話し合いをしてもらいたい。今回、お金の話が割と出てきた。

学校が出している実習費用(学生1人1000円程度)、その金額で見合うか。後輩を育てるのは大事だが、安い金でどうやってシフトしていったらよいか。中堅ナース200日に支払う単位はいくらか。その人は学生を何人受け持てるか。それらを計算して額面はいくらか、どこから出してもらおうか。人を育てる必要性を具体化するには、経費、根拠、合意形成が必要である。(参考:医師の臨床指導料300億円を作り診療報酬に組換えた)

## \*出席者アンケートより

- ・政治力を持つとは、先ず、自分の立場の問題をしっかりと考えることだと思いました。
- ・学校側、病院側の意見が聞けて良い機会でした。
- ・たかがい議員から、問題解決していくべきという話を聞けて良かった。
- ・このようにして意見を取り上げていただいている事をありがたいと思いました。

今回、たかがい議員から問題提起されましたように、日頃から、何をどうしたいかについて、議論していくことが大事ですね。看護連盟としても、今後もこのような場を持っていきたいと思えます。





# 我が家のペット自慢

沢山お寄せ頂き有難うございました。



カメックス

我が家に来た時は3cm程度でしたが3年で15cmへ成長(^\_^;) 逃げ足がとても速いです



ななちゃん

推定4歳 多忙な日々... ななちゃんに癒されています



クムちゃん

おしゃれが大好きクムちゃんです。ペンネーム ヨッシー



さき

袋に入れるのが大好き。今日も袋に入ります。



石田まさひろ議員事務所の色鮮やかな金魚



銀さん

6歳です。100歳まで生きてますよ~。



左:岳(がく)2歳♂ 右:アッシュ 15歳♂  
飼った人しかわからないジャック(犬種)の魅力!  
人生の楽しみが2倍に...

## 「会員の広場」宛

メール: knf043@world.ocn.ne.jp

FAX: 096-383-0163

「我が家のペット自慢」提供施設

- ・西日本病院
- ・熊本機能病院
- ・看護協会

ご協力ありがとうございました。

※今年度は「我が家のペット自慢」です! ペットの写真・名前と一言コメント、投稿者名(ペンネーム)掲載の可否を12月15日までに、上記「会員の広場」にメールでお寄せ下さい。



## ♥ あなたの脳を活性化しましょう ♥

次の文字を並び替えて四字熟語を作ってみましょう。(いらない文字が1つか2つ入っています)

- |         |          |         |          |
|---------|----------|---------|----------|
| ① 倒日本転末 | ② 独我天尊唯  | ③ 入刀直下单 | ④ 妻母夫婦賢良 |
| ⑤ 然異変突自 | ⑥ 方人言八九美 | ⑦ 投手意合気 | ⑧ 長男寿老不  |

(回答は次号掲載)



カンタ君



平成30年度の入会を受けています。

ベッドサイドからの声を国政に反映しましょう!

熊本県看護連盟の  
目標会員は **7,700人**です!

年会費	
日本看護連盟会費	5,000円
熊本県看護連盟会費	2,500円
<b>合計</b>	<b>7,500円</b>



レンコさん

看護連盟会員  
入会状況

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(9月26日現在)
看護協会(人)	15,183	15,426	15,134	15,346
看護連盟(人)	7,473	7,478	7,420	7,320
協会員比率(%)	49.2%	48.5%	49.0%	47.7%

お知らせ

◎役員研修

期日：平成30年10月13日(土) 会場：ホテル熊本テルサ テルサホール

◎会員研修

期日：平成30年11月17日(土) 会場：熊本赤十字病院

期日：平成30年12月5日(水) 会場：ホテル熊本テルサ テルサホール

◎看護協会・連盟合同研修会

期日：平成31年1月27日(日) 会場：熊本県看護研修センター

編集後記

周りの木々も色づき始め、キンモクセイの香り漂う季節となりました。忙しい中、体調管理に充分ご注意ください。なお、32号の表紙は県看護連盟通常総会後でのサプライズで一致団結を誓った場面です。

○広報委員

藤本 有紀 河添真理子 市村 栄子  
園田 孝子 木村 優一 奥村友季子  
中野 輝世

○担当役員

山本 史恵 岩城まつ子

お任せ下さい! 夢100%...心の栄養分  
暮らしのコーディネイト



〒862-0920 熊本市東区月出8丁目3-52

取扱品目

- 羽毛ふとん ●羊毛ふとん
- ダウンジャケット
- シルク綴通
- ムートンカーペット etc



0120-32-2020

みんなに ふわふわ

発行所/熊本県看護連盟

発行責任者  
重松 節美

〒862-0950 熊本市中央区水前寺1丁目29番1号 ナビオ水前寺101号

TEL (096)383-0023 FAX (096)383-0163

印刷所/株式会社 啓文社 電話 096(368)8100